

生成AIによって 未来の仕事はどう変わる?

取材・文/伊藤敬太郎 イラスト/桔川 伸

「ChatGPT」をはじめとする 生成AIが急速な普及を始めている

対話型生成AI「ChatGPT」は世界中に大きなインパクトを与えた。ほかに画像や動画、音声を生産するAIも普及し始め、今まで人間でなければできなかった創造的な作業もAIが高精度・短時間に行えるようになってきた。本格的なAI時代に突入り、今後、人間の仕事はどのように変わっていくのだろうか。

生成AIの影響を受ける仕事とは?

AIの影響を受けやすい仕事例

- ・通訳、翻訳家
- ・数学者
- ・エンジニア
- ・グラフィックデザイナー
- ・記者、ジャーナリスト
- ・金融マネージャー
- ・税理士 など

高度な判断や創造的思考もAIが代替!

これまでは、定型的で変化がない仕事ほどAIの影響を受けやすいと考えられてきた。しかし、生成AIが広がりを見せた2023年、高度な判断力や創造的な思考が求められる仕事ほどAIの影響を受けやすくとされる論文が発表され、従来の見方は覆された。左の職種はほんの一例。数多くの専門職がAIの影響を受ける可能性がある。



生成AIが創作する時代に クリエイターのあり方は?

個人の感情や思想がより重要に

生成AIは、プロンプト(ユーザーによる指示)を打ち込むだけで、小説や詩を書くことも、イラストや動画を作成することもできる。しかし、人間の感情や思想といった要素は生成AIによる代替は今のところ不可能といわれている。今後はクリエイターにその点がより問われるようになる。生成AIを創作ツールとして使いこなし、プロンプトを工夫する、生成AIの成果物に対して修正を加えるといった手法で自分の感情や思想を反映した作品を作るクリエイターも増えていきそうだ。



AI技術をリードする 人材に必要な学びとは?

高校までの数学の知識が基礎に

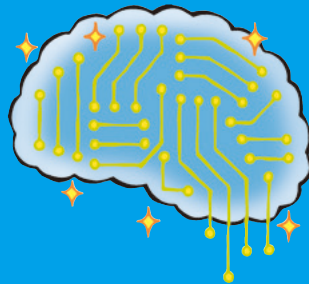
AIの進化を支えるのが大学などで活躍するAI研究者、その研究成果を社会で活用していくのがデータサイエンティストなどのAI技術者だ。共通して必要なのはPythonなどのコンピュータ言語やニューラルネットワーク(人間の脳の構造を数学的に表現する手法)などの専門知識。そして基礎として重要なのが高校までの数学だ。下に登場する今井氏は「高校までの数学を理解できていればAIは理解できる」という。さらに研究者には論文を書くための国語力なども不可欠だ。



生成AIがもたらす未来

人間の役割はAIの活用などにシフト

生成AIはビジネス、研究、創作など幅広い分野での活用が期待されている。一定以上の専門スキルがある人でなければできなかった作業も生成AIで代替可能になり生産性が大きく向上、人間の役割は、「AIの活用・運用」「人間関係構築や交渉」などへとシフトしていく。



生成AIの仕事への活用例

- カスタマーサポート** すでに生成AIの導入が進んでおり、生産性の向上などが確認されている分野。ユーザーからの質問に対してAIが適切な回答を自動で提示する。
- プログラミング** 生成AIによって、言葉による指示や簡単なコード入力だけでプログラミングコードを生成することが可能に。自動化が急速に進んでいる分野だ。
- 研究** 研究活動の多くを占める論文の発見、読解、執筆に関して生成AIの活用が進んでいる。研究のアイデア出しに生成AIを活用するケースも。
- 医療** 今や生成AIは医師国家試験に合格できるレベル。効率的なカルテの作成や情報収集に役立つことに加え、医師と同等レベルの診断も可能に。

AIの時代に 重要になる仕事

時代のフェーズが変わるとき
注目される4つの職種

生成AIの進化・普及で世の中のさまざまな仕事のあり方が大きく変わってくる。では、AIを使いこなし活躍するのはどのような力をもつ人たちののか。このテーマを考えるうえでヒントになるのが、今も多くの若手経営者などから言及される、エンジェル投資家・経営コンサルタント瀧本哲史氏の著作「僕は君たちに武器を配りたい」(2011年)。そこでピックアップされているのが右に紹介する4職種だ。

リーダー

ビジョンを掲げ
チームを引っ張る

チームをまとめて、引っ張っていくリーダーはどんな組織にも必要とされ、AIには代替不可能な仕事。明確で魅力的なビジョンを示してチームのモチベーションを高める力、メンバーの能力を見極め、適材適所で人材を配置する力などが求められる。リーダー気質でない人はリーダーのサポート役に回る道も。



イノベーター

今までになかった
ものを生み出す

今までになかった新しい商品やサービスを生み出す仕事。これも過去のデータを学習してアウトプットするAIより、人間に適しているといえるだろう。社会や業界、組織の常識にとらわれることなく従来とは逆の視点でものを見る力、異質なものを組み合わせる新しい仕組みを作り出す力などが求められる。



インベスター

人やビジネスの
成長性を見極める

インベスターとは投資家のこと。ここでいう投資とは、株式などへの投資に限らず、人やビジネス、組織に対する投資も含まれる。幅広い教養に基づいて時流を読み、人やビジネスの長期的な成長性や本質的な価値を見極める。実際に投資をしていなくても、投資家の視点でものを見ることが武器になる。



マーケター

商品やサービスの
付加価値を生み出す

狭義のマーケターではなく、広く顧客の需要を満たす発想ができる人のこと。個々の商品やサービスでの差別化が難しくなっている今、顧客が満足できるブランド価値やストーリーといった付加価値を提供できるかがあがるビジネスの成功のカギ。その役割を担うのがここでいうマーケターだ。



専門家に聞く

AI時代だからこそ人間的な力が問われるようになる!

高校までの学びを通して
汎用的な力を養おう

今後、事務系の仕事のほとんどはAIの影響を受けるようになります。ただし、これは単純にAIに仕事を奪われるということを意味してはなりません。どれだけAIが普及しようとも人間は必要です。その理由は、一つにはAIに指示をするのは人間だから。そしてもう一つは、AIは時に人が簡単には見抜けないような嘘をつくことができ、この問題を技術的に解消する方法はまだ見つからないから。その分野の専門家がAIのアウトプットを確認する必要があるのです。さらにもう一つの理由は、その仕事に責任を負うことができるのはAIではなく人間だからです。

らです。

AIの影響は大きいので、極端な話、能力を問わず、求められるアウトプットの6~8割は達成できてしまうようになるでしょう。そうなると、個人の能力差はそれほど問われないようになります。そんな時代に大切になるのは人間的な力です。人格や人間的な魅力、コミュニケーション能力、調整力などが差別化の材料になっていく。意外かもしれませんが、AI時代には、AIにない力が重要になるのです。

また、この先AIが発展することで、新しい仕事次々に生まれるでしょう。それが何かは現段階では誰にもわかりません。そのような時代に備えるために必要なのは、汎用的に活かせる基礎能力をしっかりと養うことで

す。義務教育から高校までの数学や国語、社会などを幅広く学ぶことが大切になると思います。

そのうえで、自分に合った分野を見つけて、大学以降の学びで専門能力を高めること。AIに適切な指示を与えるためにも、AIのアウトプットをチェックするためにもそれが重要になります。ただし、一つの専門分野にとらわれすぎてもいけない。こうするのが正解という指針はない時代になりますから、他人に与えられる価値観や考え方に惑わされず、自分の判断で変わり身ができる柔軟性も大切ですね。

若い頃にAIの発展を目の当たりにし、AIを活用しながら成長していく皆さんは幸運です。AI時代に即した思考法が自然と身につけていくはずですから。



東京大学 松尾研究室
今井翔太氏

Profile

いまいしよた ● 東京大学大学院工学研究科技術経営戦略学専攻松尾研究室に所属。「人間では考えつかないようなすごいものをAIによって生み出した」というモチベーションでAIの研究に従事。主な著書は「生成AIで世界はこう変わる」(SB新書)、「AI白書2022」(角川アスキー総合研究所)など。

